

新聞摘要



(2013 年 6 月 21 日～9 月 20 日)

6 月 22 日 (星期六)

被日本母亲在二战结束时中国东北地区
的混乱状态下送出去做养女,但始终相信自
己的祖国就是日本的郜凤琴女士 (69 岁), 与
中国的支援者一道, 22 日首次访问日本。为了
找到能够证明自己是日本人的线索, 从而接受
中国残留孤儿认定, 郜凤琴女士将在东京和大
阪逗留到 28 日。据说她还将与已经归国的残
留孤儿会面。

7 月 5 日 (星期五)

厚生劳动省公布了桦太等残留日本人一
行 30 人 (再次暂时回国者 17 名, 护理人员
13 名) 集体暂时回国的日期为自 7 月 6 日 (星
期六) 至 7 月 16 日 (星期二), 共 11 天。本
年度的桦太等残留日本人集体暂时回国事业,
由特定非营利活动法人日本萨哈林协会受托
实施。

ニュース記事から

ねん がつ にち はつか
(2013 年 6 月 21 日～9 月 20 日)

6 月 22 日 (土)

しゅうせん こんらんき ちゅうごくとうほくちほう に
終戦の混乱期に中国東北地方で日
ほんじん ははおや ようじょ だ
本人の母親から養女に出されたまま、祖
こく しん
国と信じる日本を思い続けてきた女性・
かおひあんちん しえん
郜鳳琴さん (69) が、22 日、中国の支援
しゃ はじ
者と初めて日本を訪れる。中国残留日本
こじ
人孤児としての認定を受けるための手がかり
さが
を探すため、28 日まで、東京と大阪に
たいざいよてい きこく
滞在予定。帰国した残留孤児らと会うとい
う。

いつか きん
7 月 5 日 (金)

こうせいろうどうしやう からふととう ほうじん しゅう
厚生労働省は、樺太等残留邦人の集
だんいちじ めい さい
団一時帰国 30 名 (再一時帰国 17 名、介護
にん
人 13 名) の日程が 7 月 6 日 (土) から 7 月
16 日 (火) までの 11 日間になったと発表
した。ほんねんど
した。本年度の樺太等残留邦人の集団一時
じぎょう とくていひえいりかつどうほうじん さ
帰国事業は、特定非営利活動法人日本サ
はりんきょうかい いたく じっし
ハリン協会に委託して実施している。

7月17日（星期三）

由中国残留孤儿的第 2、3 代为中心的流氓团伙“怒罗权”之 6 名中国籍成员（4 男 2 女）疑私自开启银行账户而触犯欺骗嫌疑和犯罪收益转移防止法，于 17 日被兵库县警察局逮捕。兵库县警认为这伙人非法买卖银行账户，有可能是用以进行汇款诈骗，从而决定调查“怒罗权”是否有组织性的参与此项犯罪活动。

8月19日（星期一）

以中国归国者一家为题材拍摄的纪实性电视剧《基町公寓》将于 24 日晚 11 时在 NHK 综合频道播出。位于广岛中心地区的市营基町公寓一共居住着三千多户人家，其中也有很多原子弹爆炸受害者及外国人。此电视剧旨在通过没有历史知识的孩子的视线，来审视原子弹爆炸和归国者。

9月11日（星期三）

厚生劳动省公布了中国残留日本人一行 26 人（再次暂时回国者 13 名，护理人员 13 名）集体暂时回国的日期为自 9 月 12 日（星期四）至 9 月 23 日（星期一），共 12 天。此乃本年度的第二次中国残留孤儿集体暂时回国，其事业由公益财团法人中国残留孤儿援护基金受托实施。

① 请注意

本栏目的新闻皆为一般报章的报道摘要。因此，并非为政府正式公布之内容，其中一部分还包含媒体的观察消息，敬请注意。

7月17日（水）

兵庫県警は 17 日までに、銀行口座を不正に取得したとして、犯罪収益移転防止法違反や詐欺の疑いで、中国残留孤儿 2、3 世を中心とした不良グループ「怒羅権」のメンバーで中国籍の容疑者ら男 4 人、女 2 人の計 6 人を逮捕した。県警は、口座の不正売買が振り込め詐欺など犯罪に悪用された可能性もあるとみて、「怒羅権」の組織的関与を調べる。

8月19日（月）

中国帰国者の家族を題材にしたドキュメンタリードラマ「基町アパート」が、24 日夜 11 時、NHK 総合テレビで放送される。広島中心部にある市営基町アパートは 3 千戸以上あり、被爆者や帰国者、外国人も多い。歴史を知らない子どもの目線から、原爆や帰国者を語る。

9月11日（水）

厚生労働省は、中国残留邦人の集団一時帰国 26 名（再一時帰国 13 名、介護人 13 名）の日程が 9 月 12 日（木）から 9 月 23 日（月）までの 12 日間になったと発表した。本年度の中国残留邦人の集団一時帰国事業は 2 回目で、公益財団法人中国残留孤儿援護基金に委託して実施している。

① ご注意

本欄の内容は、すべて一般の新聞などで報道された内容を要約して掲載しているものです。したがって、政府が公式に発表したものではなく、一部には報道機関の観測記事なども含まれていますので、ご注意ください。